

## 令和2年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書【2年目】

P T A名	静岡県立藤枝特別支援学校 P T A
学 校 名	静岡県立藤枝特別支援学校 <input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害 <input checked="" type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱
設 置 部	<input type="checkbox"/> 幼稚部 <input type="checkbox"/> 小学部 <input type="checkbox"/> 中学部 <input type="checkbox"/> 高等部
全校児童・生徒数	334人

### 1. 使用状況

寄贈物品名	エアートランポリン
使用学年及び人数	主に肢体不自由学級小学部から高等部までの50人が使用している
使用頻度	隔週のペースで特別活動や自立活動などの時間に使用している。 生活学習単元で使用するときは、1か月間、毎日使用する。
使用状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活単元学習の単元『揺れる活動』の教具として活用している。</li> <li>この単元は、1か月を通して、行うので、毎日使用した。</li> <li>・毎日学習する自立活動では、体感を鍛えたり、揺れを楽しんでいる。</li> <li>・週1回の特別活動や不定期のお楽しみの時間の中で使用することがある。</li> </ul>
物品の使用による 変化や効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・揺れを楽しむことができる児童生徒が多いため、エアートランポリンが完成すると、近づき、上に載って楽しむ姿が多くみられた。また、効果的な体の使い方を学んだ。</li> <li>・表出が少ない重度重複障害の児童生徒が、エアートランポリンに教師と一緒に乗り、楽しむと教師に、笑う、体をいつも以上に動かす、声を出すなどが見られる。</li> </ul>
今後の活用の 見通しや課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度寄贈いただいたので、安定して使用することができる。</li> <li>・今後も継続的に活用していきたい。消耗品のため、穴が開いてしまうなどの劣化が考えられる。</li> </ul>
その他 希望や所感など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・このような教具を使い、肢体不自由児の教育を行うことは、とても良い教育効果が生まれるので、感謝しています。</li> </ul>

## 2. 活用の様子



・今年度入学した小学部1年生。車いすでの移動から独歩で移動と実態差のある児童と一緒に活動を楽しむことができました。



・医療的ケアのある重度重複障害のある中学部の生徒。教師に抱きかかえられながら、揺れを楽しむことでとてもよい笑顔を見せてくれました。